

# 理学療法士募集案内

## YONEDA HOSPITAL

# YONEDA HOSPITAL YONEDA CLINIC

## はじめに

当院は整形外科単科病院・診療所として、一般的な整形外科疾患の他、スポーツによるケガ、手の外科、人工関節手術や関節リウマチの治療も得意としています。

平成27年秋に耐震建替工事が完了し、外来・入院病室も充実した環境となりました。

患者さん本位の医療を提供するため、医師・看護師・薬剤師・放射線技師・リハビリスタッフ・その他関係職種とともにチーム医療を推進しています。

専門職の経験を積みながら、チームYONEDAの一員として一緒に働きましょう！

---

## 経営理念

患者さん中心の医療を目指す

1. 高水準で安全な運動器医療の提供
2. 各医療職種の人材の持ち味を生かす
3. 地域医療連携

---

## YONEDAグループ 5つの目標

1. 双方向コミュニケーション
2. 標準化
3. 全体最適
4. 透明性
5. 継続性



## リハビリテーション科のご紹介

外来部門では、午前中は高齢者を中心に骨折、脱臼などの急性期外傷後や変形性関節症などの疾患のリハビリを行っており、午後は学生、スポーツ競技者などを中心に前十字靱帯損傷(術前後)や投球障害などスポーツ障害に対するリハビリテーションを行っています。

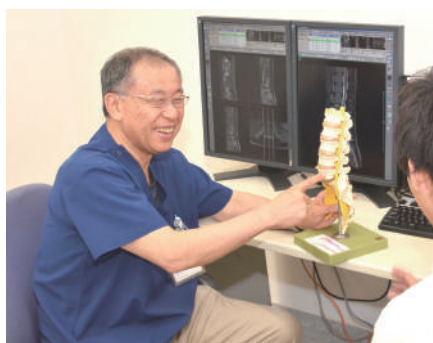
また、入院部門では、手術後の患者さんを中心に早期社会復帰のための積極的なリハビリテーションを行っています。一方、ご高齢の患者さんも多く、メディカルソーシャルワーカーや看護師と連携し、積極的な退院支援も行っています。

柔道整復師も多く勤務しており、お互いに切磋琢磨して良い環境のリハビリテーション科を作り上げることを目的に、定期的な勉強会を開催し、学会発表などにも積極的な支援を行っています。アキレス腱断裂、腰椎分離症、転倒予防、スポーツ障害に関する研究班も存在しており、各班に所属することで各疾患に対してより深く携わることができます。また、当院は日本相撲協会の指定病院となっており、希望者は大相撲名古屋場所の救護活動にも参加しています。

当院は大変多くの患者さんが来院されるため常に忙しい環境です。

ゆったりとした環境で業務を行いたいと考えている方には不向きである職場だと思います。

しかし自分の持っている能力(知識、技術、接遇)を発揮して患者さんに喜んでいただき笑顔が見たい、また多くの仲間(他職種も含め)とコミュニケーションをとりチームの一員として働きたい、そして多くの症例を経験することで自分自身が成長したいと思っている方には、大変適した職場であると確信しています。



---

## リハビリテーション科の目標

1. 各職種との良好なコミュニケーションを通して業務の質を確保する。
2. 高水準で安全な保存療法・運動療法を提供する。
3. 職員が気持ちよく働き、互いに成長し続けることのできる職場を目指す。

# YONEDAの取り組み

## 電子カルテ

電子カルテは保存性・真正性・見読性に優れ、毎日の業務を円滑に行うことができます。

当院では患者さんの個人情報や診療内容を全て電子カルテで管理しています。

## チーム医療

医師、薬剤師、看護師、柔道整復師など、他職種とのコミュニケーションが非常に活発です。

チーム医療の一員として、広い視野で患者さんを支えることができるようになります。

## CSとESの向上

CS（顧客満足度）とおなじように、ES（従業員満足度）の向上が大切だと、当院の経営者は考えています。

ESに対する主な取り組みとして、職員食堂の充実、資格手当などの他、残業時間をできるだけ減らし、有給休暇や育児休暇などを積極的にとることを奨励しています。また、ハラスメントとみなされる行為が黙認されないよう、コンプライアンスに関しても整備を進めています。

## リハビリテーション科のPOINT

### POINT 1

### 万全の患者さんサポート体制！

入院リハビリを行う病院、通院リハビリを行うクリニックの両施設の連携により、「入院前リハビリ・診察→入院中のリハビリ→退院後リハビリ・診察」の一連の流れに対するフォロー体制も整備しています。

### POINT 2

### アスレティックリハビリテーションの実施！

広々としたリハビリ室には運動スペースが確保されており、スポーツ復帰に向けたリハビリを積極的に行っています。慢性疾患の患者さんだけでなく部活を行っている学生さんのリハビリも多く、膝ACL損傷、半月板損傷、野球肩などのスポーツ障害のリハビリを経験することが出来ます。

### POINT 3

### 米田柔整専門学校の図書室が利用できる！

YONEDAグループの米田柔整専門学校にある図書室「メディアセンター」が利用できます。

メディアセンターには、専門書や歴史的な書物から新刊雑誌まで、豊富な蔵書がそろっています。

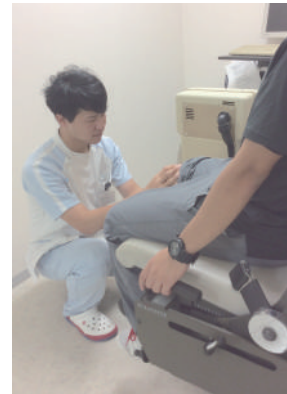
解剖などのビデオやDVDもあり、メディアセンター内で観ることができます。

POINT 4

## 充実した医療機器！

MRIやCT、X線検査機器、骨密度検査機器などの検査機器に加え、リハビリテーション科も使用可能な超音波画像診断装置や筋電図、等速性筋力測定装置などの医療検査機器が充実しており、それらを使用し知識を深めることができます。

動作解析設備も備えており、投球や歩行などの研究も可能です。



POINT 5

## 院内勉強会・院外発表のバックアップ

昼の休憩時間などを使い、先輩や後輩とリハビリの練習や相談ができるだけでなく、医師も参加する院内勉強会で高い評価を得た内容については、学会発表も全面的に支援されます。



POINT 6

## 大相撲名古屋場所で力士の救護活動ができる！

毎年7月に行われる名古屋場所中は、リハビリテーション科より1日2名が派遣されています。

8:30～18:00まで支度部屋の一角で待機しており、取組後の外傷処置などを行っています。



POINT 7

## 仕事とプライベートの両立を応援！

YONEDAでは有給休暇の取得を奨励しています。

リハビリテーション科においても、リハビリ予約制を生かして休養やリフレッシュができるような体制を整えています。有給休暇の取得は、健康だけでなく職場の安全にもつながっています。





## 新入職員研修

入職初日には、理学療法士の業務に関するガイダンスのほか、接遇研修や施設案内、出勤・退勤ルールの確認などを行います。この日から、米田病院職員としての新たな日々が始まります！

## 指導体制

「入職から半年後に自立して業務を行えるようになること」を目標としています。

自立した後も、もちろん、アドバイスやフォローは継続していきます。各疾患のリハビリについては、教育係以外にも複数名の先輩がフォローにあたるため、多角的視野を養うことが出来ます。

※教育体制は年度毎に検証、実施をくり返しています。



4月 社会的基礎ルール、事務的業務、施設基準の理解

4～5月 トラブル事例の把握、一般整形疾患概論・評価、ADL指導の習得

- POINT !**
- ☐ 先輩のリハビリを見学したり、教育係の指導を受けながら自立を目指します。
  - ☐ まずは一般整形疾患（腰痛・肩関節周囲炎・変形性膝関節症など）から学びます。
  - ☐ 習熟度を確認するため、適宜テストを行います。



5～6月 自立度判断

6. 9. 12月 症例発表会



## フォロー体制

教育係とともに業務手順の確認・評価を行いながら、無理なく進めていく体制をとっています。一方的に進むのではなく、個々の技量にあわせて進めていきます。

# 1日の流れ

## [ 病院リハビリ ]

- 8:30 — 業務開始  
朝礼 準備 カルテチェック
- 8:50 — 午前リハビリ開始
- 12:30 — 休憩 昼食 会議 勉強会 など
- 13:30 — 午後リハビリ開始
- 17:00 — 午後リハビリ終了  
片付け カルテ記載 など
- 17:30 — 業務終了



## [ クリニックリハビリ ] ※曜日によって異なります。

- 8:30 — 業務開始  
朝礼 準備 カルテチェック
- 9:00 — 午前リハビリ開始
- 12:30 — 休憩 昼食
- 14:00 — 会議 勉強会 など
- 14:30 — 午後リハビリ開始

- ※午後リハビリ終了後、片付け・カルテ記載 など
- 18:30 — 業務終了



左合 正都 さん

- 2020年4月 入職
- クリニック勤務

私は現在クリニックで勤務しています。

以前は病棟で入院患者さんのリハビリを行っていました。病棟では、手術後や骨折などの急性期の患者さんが多く、急性期のリスク管理や炎症管理、退院支援について学ぶことが出来ました。また、医師や看護師さんなど多部署の方とのコミュニケーションも取ることができ、さまざまな考え方を学ぶことができました。

クリニックでは疼痛を主訴とした患者さんが多数来院され、様々な整形疾患のリハビリを経験することができ、難しいことも多いですが日々勉強させていただいています。

当院は、入院から退院後の通院リハビリまで治療することができ、術後や退院後の経過を追えることがとてもいい環境だと思います。

また、ACL損傷や野球肩などスポーツ外傷の患者さんも多数来院されるため、スポーツ疾患もしっかりと見れることが特徴だと思います。

クリニック・病棟間での部署異動があり、最初は私も不安でしたがスタッフの年齢も近いことから先輩などに聞きやすくとても働きやすい環境だと感じました。



駒田 朱音 さん

- 2020年4月 入職
- 病院(病棟)勤務

私は現在入院患者様のリハビリを行う病院の病棟に勤務しています。

病棟では転倒による骨折、手術直後の患者様など、学生さんからご高齢の方まで様々な年齢の方が入院しています。

リハビリはもちろん、退院後の生活での転倒リスクなどを予測し退院後の日常生活を安全に過ごせるよう、家屋調査、動作指導、家族指導を積極的に行っています。

看護科、MSWとの情報共有を密に行うことで退院支援がスムーズに進めれています。

入職当初は女性スタッフが2名ほどでしたが、気さくに話しかけて下さる同期や先輩方が多く楽しく勤務することが出来ています。現在では女性スタッフは5名に増え、より働きやすい職場になったと思います。

現在病棟リハビリでは、グループ制になったため一人で抱え込まずグループで勉強したり、意見を言い合いながら知識の向上・共有に努めています。



松尾 大志 さん

- 2017年 4月 入職
- 2023年 1月 退職

私は約6年間勤務させていただき、その勤務期間よねだ整形リハビリクリニックに所属し、外来リハビリを中心に理学療法を行ってきました。

米田病院・よねだ整形リハビリクリニックは本当に多くの患者様が来院されます。そのため我々理学療法士が担当させて頂く症例数も多くなります。これだけ多くの疾患、症例数を経験させていただけたことは、これからの大きな財産になったことと同時に、私自身を大きく成長させてくれたと感じています。

院長先生を始め、リハビリに対してご理解の深い医師の先生方が多いため、患者様とのリハビリ時間がしっかりと多く確保出来ることが米田病院・よねだ整形リハビリクリニックの大きな特徴だと思います。そのため、一人ひとりの患者様にしっかり向き合え、考察を立てた上で施術を行うことができました。このように、理学療法を行うための環境がしっかり整っている病院だと思います。

また、後輩指導や勉強会、管理業務とたくさんのかたちを経験させていただきました。理学療法士としてだけでなく、人として大きく成長できた。そう感じる6年間でした。



# 施設案内

310㎡の広々としたリハビリ室 (クリニック1F)



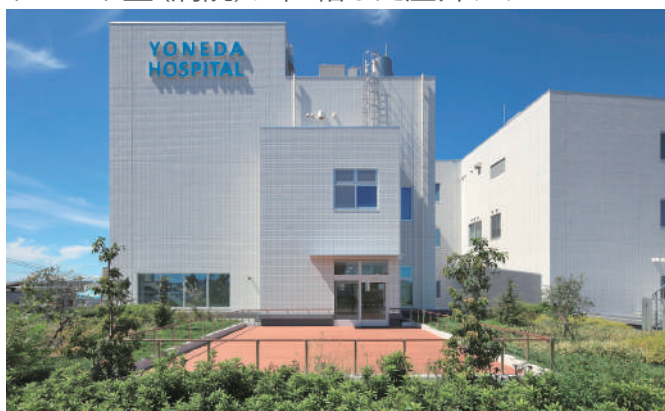
アスリハも可能なリハビリ室 (クリニック2F)



280㎡の広々としたリハビリ室 (病院)



リハビリ室 (病院) に直結した屋外テラス



MRI (2機)をはじめとする様々な検査機器



患者さんにもスタッフにも優しい  
ワンフロアの整形外科病棟 (54床)



整形外科に特化した手術室 (3室)



YONEDAグループの米田柔整専門学校で  
最新の各種医療雑誌や書籍の閲覧が可能



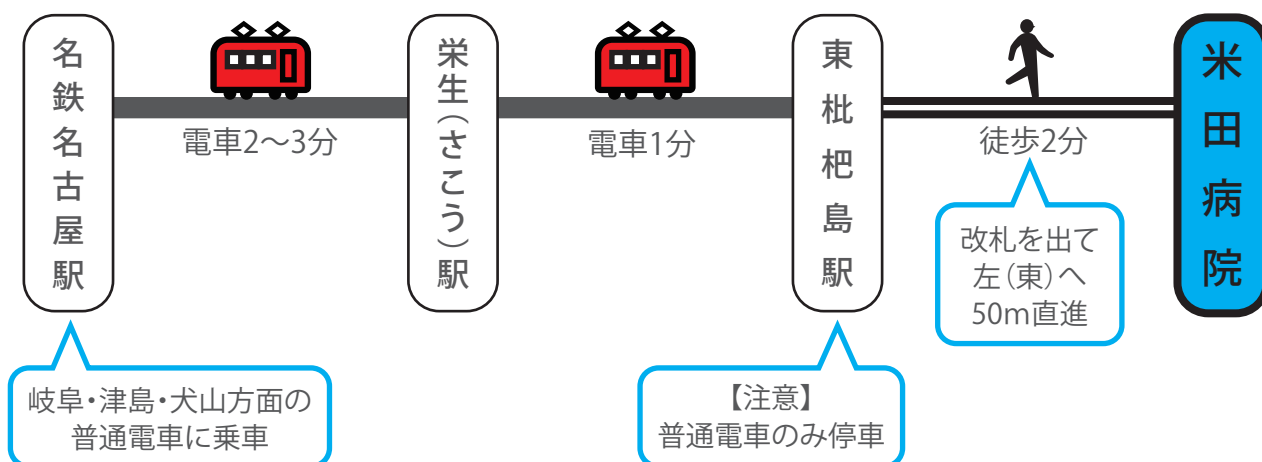
# アクセス

〒451-0053

愛知県名古屋市西区枇杷島一丁目11番5号 ☎052-521-6406

## ■ 公共交通機関でお越しの方（名鉄）

名古屋駅から2駅、東枇杷島駅から徒歩2分。名古屋駅からのアクセス◎



## ■ 周辺地図

